

# まらまら

今、ひとりひとりが…

こんにちは！「きらきら」です。

皆さんは、男女共同参画と聞いてどんなイメージを抱かれますか？

「ダンジョキョウドウサンカク？要するにオンナがでしゃばることやろっ。」  
いいえ、そんなことはありません。

男女共同参画を通じて、男も女も共に「きらきら」輝く生きかたができる社会にしたい。そんな想いから名づけられたのがこの情報紙です。

「きらきら」輝く生き方は、人それぞれです。よく、「男女共同参画」とい  
うと、企業でがんばって「働くお母さん」や、「育児父さん」ばかりが、もて  
はやされるようですが、大切なのは働くお母さんや育児父さんを受け入れる  
側の考え方ではないでしょうか。もしも、働くお母さんの職場が、「子ども  
がいることで、引け目を感じる」様な雰囲気であつたら、耐えられずに退職  
してしまうかも知れません。そして、最悪の場合、その鬱憤うづみんの矛先ぼうせんを子ども  
に向けてしまうかも知れません。もしも、育児父さんが、「育児を終えたら、  
机がない」ような職場だつたら、育児を取らずに、馬車馬のように働いて、  
妻子を養うことの重荷に耐えかね、自らの命を絶つてしまう……なんてこと  
も無きにしも非ずです。いずれにしても、その生きかたに戸惑いを感じて  
「きらきら」輝くことはできないでしょう。

働くお母さんが、夕食の支度を気にせずに仕事ができる、育児父さんが、  
育児が明けても、誰に気兼ねすることもなく、会社から、子どもの保育園の  
お迎えに行ける、そんな環境を提供できる方々こそ、未来の「男女共同参画  
社会」を築いていけるのではないのでしょうか。

あなたは、あなた自身の「きらきら」輝く生きかたを見つけていますか？  
そして、周りの人の「きらきら」輝く生きかたを、理解し、認め、尊重し  
ていますか？

さわやかな秋風にのせて、あなたのお手元に「きらきら」をお届けします。  
あなたの生きかたのサプリメントになれば、幸いです。

(編集員 山本並美)

伊賀市  
男女共同参画情報紙

第10号

2005年

あなたの身近では男女共同参画は進んでいますか？

もうすぐ1歳になる伊賀市、これからもっと住みよい伊賀市になるようにみんなで考えてみませんか？

今回は、男女共同参画の視点で伊賀市の全地域別にアンケート形式で12名の方におたずねしました。

## 男女共同参画社会とは？

21世紀を迎え、私たちが目指す社会は、すべての人々の人権が保障され、一人ひとりが、性別にかかわらず、自立した個人として、その能力と個性を十分に発揮することができる社会であり、それぞれに多様な生き方が認められる社会です。

そして、その社会は、男女が対等な立場で、社会のあらゆる分野に共に参画し、責任を分かち合う社会（＝男女共同参画社会）です。

また、少子高齢化、国際化および高度情報化の進展をはじめとする急激な社会経済情勢の変化に対応するために社会構造の変革が求められています。新しい社会構造の前提となり、基礎となるものが、男女共同参画社会です。

**Q1** 地域の共同作業（草刈・溝掃除・道作り等）に女性が参加した場合、出不足金等の取り決めはありますか？

出不足金制度がある・・・2人  
ない・・・・・・・・・・・・6人  
現在はない・・・・・・・・4人

**Q2** 自治会長、区長は男性という慣例がありますか？

はい＝12人　　いいえ＝0人

（その理由は、なぜだと思いますか？）

- ・女性のなり手がないから。
- ・組長も男性のみであり、女性や老人世帯は免除となっている。確かに男女差別という面も否めないが、区行政の多忙性もあって近隣社会における相互扶助的な要素もあると思われる。
- ・男がするのが当然になっている、おかしいという声も聞かれない。

**Q3** 集会では男性が上座に、女性が下座に座ることが多い？

はい＝11人　　いいえ＝1人

（その理由は、なぜだと思いますか？）

- ・上座は年上の男性から座るものとされている。田舎の習慣だからと疑問に思ったことはない。
- ・今もその傾向はあるが、自分は気にしないで座るようにしている。
- ・女性が控えめすぎる。女性側の意識に問題があると思う。

**Q4** 男性だけ、女性だけが参加する祭りや伝統行事はありますか？  
ある場合具体的にお答えください。

はい = 5人      ない = 7人

● 神社の秋大祭（奉納神事）

女性は生理等があるため、神社の境内において侵入してはいけな場所がある。以前、私はこの神域を知らず、怒鳴られたことがある。

● 神さんの行事としての「宗旨」

男性は祝い事として食事をするが、女性はもっぱら台所で食事の用意をするだけで男性の所へは行けないというしきたりになっている。

● まつりど

10月16日植木神社の秋大祭を各地元の公民館で宗旨行事を行う。男性だけの行事だったのが3年前から女性の参加も認められたが未だに女性の参加がない。神社を祀っていた当時からのしきたり。

● 正月堂修正会

大餅搗きには女性が立ち入ることは出来ない。女人禁制のながれと思う。真言宗の行事。

● 八幡祭り

五穀豊穡を願う。その地区に昔から住んでいることが第一条件。女性は野菜料理を作るのみでその場所には入れない。また、男性であっても太鼓の合図に遅れると入れない。理由はわからない。

**Q5** 葬式・結婚式で性別のちがいによるしきたりなどありますか？

はい = 4人      ない = 8人

- ・ 葬式では、穴掘りが男性の仕事、台所の手伝いが女性の仕事。
- ・ 結婚式の親族代表の挨拶は男性がほとんどしている。
- ・ 葬式の翌日、親族の女性が死者の着ていた着物を洗う。
- ・ 葬式の挨拶は男性が行う。夫が死んでも妻ではなく、子ども(男性)が行う。子どもが小さい時は親戚の男性が行う。

伊賀市では、男女が性別にかかわらず個人として尊重され、いきいきと生きられる「男女共同参画社会」の実現を目指し、平成16年11月1日に『伊賀市男女共同参画推進条例』を施行しました。

詳しくは、伊賀市の男女共同参画課のホームページをご覧ください。また、男女共同参画課までお問い合わせください。

田舎に嫁いだものにとって義父母に家の体面を汚さぬよう振舞うことを教わった。いつしかそれが身に付き最近まで違和感などなかった。

今日、男女共同参画と聞いて共感することも多く、職場では通用する言葉と思う。しかし住居のある地域に戻ればやはりその慣習を受け入れる自分がある、団塊の世代だから……かな。

しきたり慣習アンケートより。



# アンケートを終えて

- ◆ 男女で平等でない慣習やしきたりを「今までずっとこうしてきたから」とそのままにしていませんか。  
おかしいと思ったことは、勇気がいりますが、声に出さないと変わりません。また、まわりの支えも非常に大切です。
- ◆ 男性と女性が一緒になって意見を出し合い創り上げていく地域づくりが大切であり、自治会等の役員も男女半々が理想です。  
男の仕事、女の仕事と決め付けず、助け合い責任を果たしていきたいものです。

「伝統」は人間がつくり、人間の都合で変えられている。

残すべき伝統と変えるべき伝統と無くすべき伝統がある。

それを考える基点を「人権」におくことは重要。

～ 関西大学 源 淳子さんの講演より～

## 伊賀市男女共同参画ネットワーク会議 加入団体紹介!

### 伊賀音楽療法研究会

#### 発 足

平成11年3月

#### 会 員 数

38名（平成17年6月現在）

#### 当会の目的

音楽療法について、理論的、実践的な研究および事業を行い、音楽療法の発展を目指し、音楽療法を通して地域住民の健康の維持・増進など、広く社会に貢献すること。

#### 活 動 内 容

- ・研究会及び音楽療法公開講座の開催
- ・うたおう会等の開催
- ・いきいきサロン、音楽療法教室等への講師派遣
- ・他団体との連携



— この伊賀の地に音楽療法の息吹を吹き込んでいます —

#### 事 務 局

伊賀市社会福祉協議会 伊賀音楽療法研究会  
ホームページ

<http://www.hanzou.or.jp/music/top-page.htm>

映画「ベアテの贈りもの」を観てきました。

## 憲法24条(男女平等)の誕生秘話



ベアテさんは当時22才の若い女性。日本国憲法の草案づくりにかかわった実話です。

**14条**：すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない。（女性の人権）

**24条**：婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。（男女平等）

ベアテさんは5才から16才の多感な少女時代を戦前の日本で過ごし、大学進学のため16才で単身渡米。その後日米は開戦し、両親と別れ別れに。日本に残った両親を探し出すために、戦後アメリカ軍属の仕事を見つけて来日。合衆国憲法にすら含まれていない男女平等条項を含む女性の人権を担当。

日本の女性の哀れさ、苦しさ、地位の低さを感じていたベアテさんは、世界各国の憲法を集め、憲法に男女平等・夫婦同等の権利をくわしく書き入れました。その多くは削除されましたが、基本的な考え方が14条と24条として残されたのです。もし両親との別れがなかったら、ベアテさんは日本に来ることはなかったでしょうし、日本の女性をよく知るベアテさんでなかったら、憲法24条はなかったかもしれません。まさにベアテさんから日本の女性へのプレゼントといえるでしょう。「ベアテさん、ありがとう!!」と心から感謝です。

### 《ベアテ・シロタ・ゴードンさん》

1923年10月25日「リストの再来」と呼ばれたピアニストを父に、ウィーンに生まれる。作曲家山田耕作的の招きで東京音楽学校のピアノ教授として赴任した父レオ・シロタとともに来日。戦前の日本で少女時代を過ごす。

1955年自伝『1945年のクリスマス』（柏書房）を発刊。1998年勲四等瑞宝章受賞。



今、『ベアテの贈りもの』は生活のなかで生かされているのでしょうか？

戦後60年、さまざまな法整備がされてきましたが、家庭のなかで、地域で、また職場など、毎日の生活のなかで女性の人権が十分認められているとはいえません。

お互いの人格を尊重し、お互いが対等なパートナーであるという意識をもつことが大切だと感じました。

# きらきらストレス解消講座

すみきった秋空をあおぎ、大きく深呼吸をする。  
小さな気分転換でストレスを発散、自分を励まして「さあ、もう一仕事・・・」  
人はだれでも大なり小なりストレスを抱えながら毎日を過ごしているのではないのでしょうか？

みなさんはこのストレスとうまく付き合っていますか・・・？



## みんなのストレス解消法 どうしてる？

### Aさんの場合（60代女性）

一人でやりたいことに集中する。ひたすら読書をしたり、友人に手紙を書く。趣味の大正琴はストレスになっている(笑)でも、発表会などやり遂げたときはすっきりします。

### Bさんの場合（50代女性）

3B体操のサークルに行くこと。音楽(喜太郎)に合わせてストレッチから始まるけれど、私の場合は最初から最後までおしゃべりしながら体を動かすことがストレス解消です。

### Cさんの場合（40代女性）

仕事などで疲れがたまってくるとネガティブになってくる、それが私のストレスサイン。頭を空っぽにしてしっかり睡眠をとり体を休めます。

#### ■同じストレスでも、受けとめる人によって「よいストレス」になるか「悪いストレス」になるかが大きく異なってきます。

■例えば、スポーツも好きな人にはよいストレス状態を引き起こすが、嫌いな人は、嫌な気持ちになることがあります。

■ストレスは生活のスパイス。適度なよいストレスを持つようにして、悪いストレスはできるだけ少なくなるように、ストレス解消する、受けとめ方を変えるなど対処していくことがポイントになります。

## こんなことも・・・ インターネットでストレス解消！

### 検索クリック

「風の気持ち」音楽によるストレス解消がテーマ

「動物園」等のホームページで動物達に癒されてみませんか？

## いきいき未来いが2006 ～ 自立して <sup>とも</sup> 女男に輝く いがのまち ～

**とき** 平成18年2月18日(土) 午後～ 講演、分科会ほか

**ところ** 上野フレックスホテル 2階

**講師** <sup>い だ ひろ ゆ き</sup> 伊田 広之さん (立命館大学 非常勤講師)



★ 表紙の焼物は、伊賀市在住「融栗谷工房」壺田和宏さんの作品です ★

## 編集 後記

伊賀市になって今回初めて全戸配布することになり、多くの方々に読んでいただけるようになったことがうれしいです。今回は「慣習・しきたり」という身近な問題を取りあげましたが、なかなか奥深いものがあります。読んでいただいた感想、ご意見をお寄せいただき、みなさんとともに考えていきたい男女共同参画社会です。面倒がらず、あきらめずにがんばりましょう。  
(編集員 三山佳代子)

【きらきら編集員】 岡 久美子・竹山 佐代子・藤田 量子・松永 啓子・三山 佳代子・山本 並美